

## 奇跡の一瞬

私たちは、「自分の人生で巡（めぐ）り会った人」を大切にします。なぜでしょうか。人生には、私たちが、しばしば忘れてしまう、一つの真実（しんじつ）があります。それは、何でしょうか。人生において巡り会うのは、一握（ひとにぎ）りの人々に過ぎないという真実です。

私たちは、この短い人生の中で、それほど多くの人々と巡り会うことはできません。あなたは、そのことに気がついているでしょうか。

例えば、毎日、一緒に生活している家族。当たり前のように、毎日、顔を合わせている家族。その家族との巡り会いも、本当は、奇跡（きせき）に他なりません。家族になるということは、深い、深い縁（えん）なのです。

例えば、あまり好きになれない同級生。いつも喧嘩（けんか）をして、あまり仲良くなれない同級生。その同級生との巡り会いも、本当は、奇跡に他なりません。喧嘩をするという出会いも、実は、深い縁に他（ほか）なりません。

確かに、テレビや新聞を見るならば、日々、無数の人々の情報が伝わってきます。テレビや新聞を通じて、多くの人々の生きる姿や働く姿を知ることができます。しかし、人生において、実際に出会い、触れ合い、語り合い、一つの時間と思い出を共にすることのできる人々は、実は、数えるほどしかいません。

もちろん、様々な場で、数多くの人々と挨拶（あいさつ）を交（か）わすことはできます。ネットを通じて、多くの人々とコミュニケーションをすることはできます。それでも、私たちが、その短い人生において実際に巡り会うのは、ほんの一握りの人々に過ぎません。あなたは、そのことに気がついているでしょうか。

もし、そのことに気がついたならば、分かるはずです。なぜ、私たちが、「自分の人生で巡り会った人」を大切にするのか。私たちの人生における、人との巡り会い。それは、かけがえのない出会いです。そして、それは、不思議（ふしぎ）な縁です。

それは、まさに「奇跡の一瞬（いっしゅん）」です。人と人が巡り会う瞬間は、「奇跡の一瞬」なのです。

今、この同じ21世紀という時代に、この同じ地球上に生きる、無数の人々。私たちは、そのほとんどの人々と、巡り会うことなく、生きていきます。喧嘩をすることさえなく、生きていきます。だから、喧嘩をするという出会いも、実は、深い縁なのです。

そのことに気がついてほしいのです。もし、あなたが、そのことに気がつくならば、自然に、一つの思いが、心に生まれてくるでしょう。